

道内初の組合員向けサービス

資材注文サイト開設

上川管内のJAあさひかわは8月、道内初の組合員向けサービス「生産資材注文サイト」を開設し、運用を始めた。スマートフォンやタブレット端末、パソコンからインターネット経由で手軽に資材が注文できるシステム。実店舗に代わる新たな窓口として、組合員サービスの向上と業務効率化につなげたい考えだ。

JAあさひかわ



JA担当者の説明を受けてスマートフォンへ会員登録をする千葉さん(旭川市で)

登録など初期設定をするだけで手軽に注文できる仕組みだ。JAは、今後の生産

資材店舗の統合や廃止を見据え、本システムの導入に踏み切った。3カ年計画のスケジュールに基づいて、組合員からの要望や改善点を取り入れながら運用する方針だ。

JA旭正地区の稲作農家の千葉直弘さん(50)は「スマホで発注できる手軽さが良い。注文履歴の確認や時間に関係なく自由に注文できるのも良い」と感想を話す。JAの佐藤崇之購買部長は「生産資材店舗の組合員利用サービスは以前からの課題。資材注文システムを進めてきてようやく実現できた。今後3カ年のスケジュールに沿って運用し、ぜひとも軌道に乗せたい」とする。

店舗代替、肥料・農薬から

当面は肥料の取りまとめを予約注文書と併用し、個別訪問などで組合員への周知を図りながらサイトの普及を進める。「資材受注システム」の運用は道内

初で、2024年度の春肥の予約が始まる8月からの運用を目指し、NTTデータと連携して進めてきた。11月からは農薬の予約も始める。

来年度からは肥料・農薬の注文と並行して、店舗内資材商品もサイトから注文できるようにする予定だ。QRコードなどからサイトにアクセスし、会員